

# 平成25年度(第15期)決算について

平成26年5月13日

東日本電信電話株式会社

# 1. 損益及び設備投資の状況

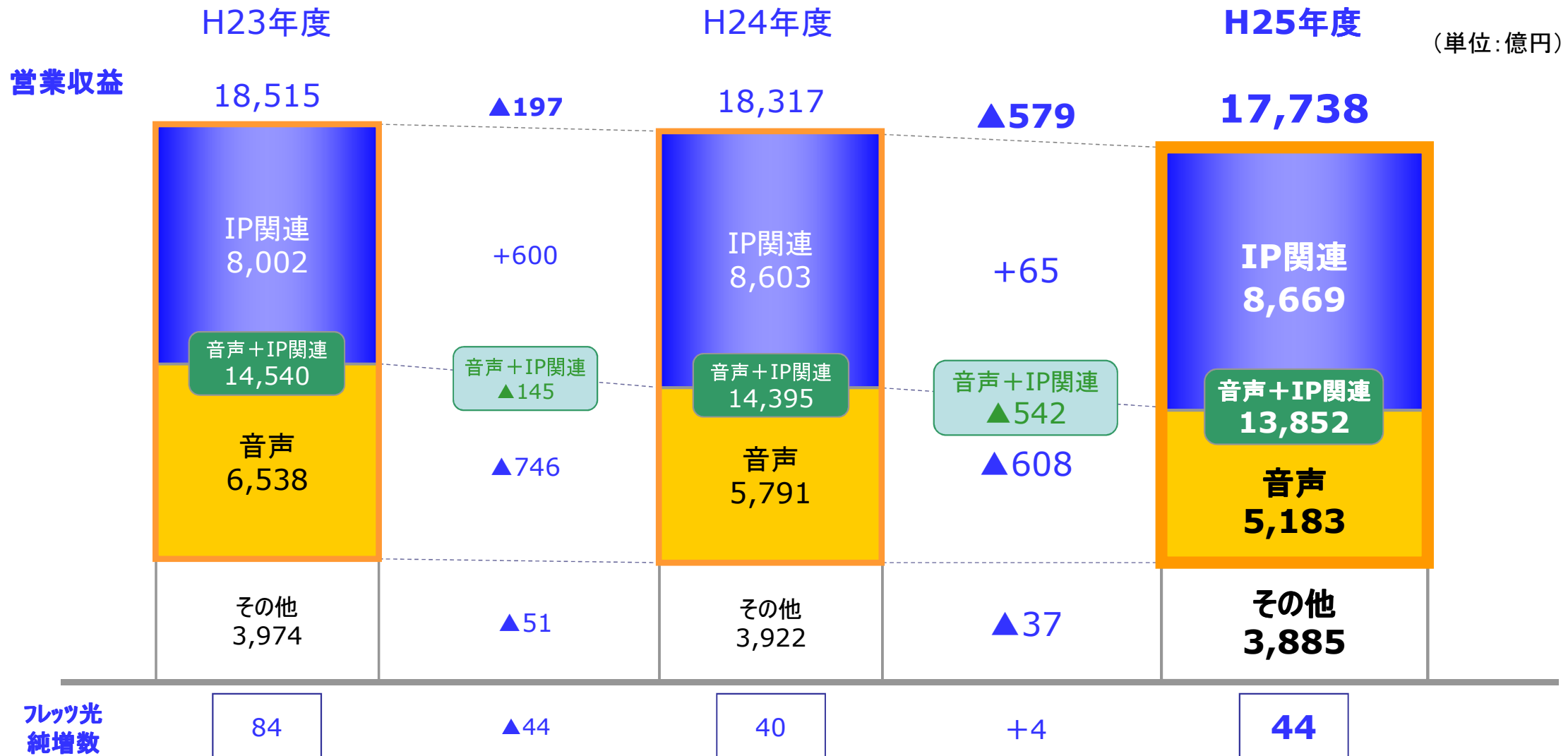
- 営業収益は対前年▲579億円の減、営業費用は対前年▲596億円の減、これにより、営業利益は対前年+16億円増の667億円となり、減収増益の決算。
- 当期純利益は、対前年+11億円増の539億円。
- 設備投資は、対前年▲452億円減の3,513億円。

(単位:億円)

| 項目    | 前期<br>(H24年度) | 当期<br>(H25年度) | 増減額   |
|-------|---------------|---------------|-------|
| 営業収益  | 18,317        | <b>17,738</b> | ▲ 579 |
| 営業費用  | 17,667        | <b>17,070</b> | ▲ 596 |
| 営業利益  | 650           | <b>667</b>    | + 16  |
| 経常利益  | 888           | <b>917</b>    | + 28  |
| 特別損益  | ▲ 79          | <b>▲ 82</b>   | ▲ 3   |
| 当期純利益 | 528           | <b>539</b>    | + 11  |
| 設備投資額 | 3,965         | <b>3,513</b>  | ▲ 452 |

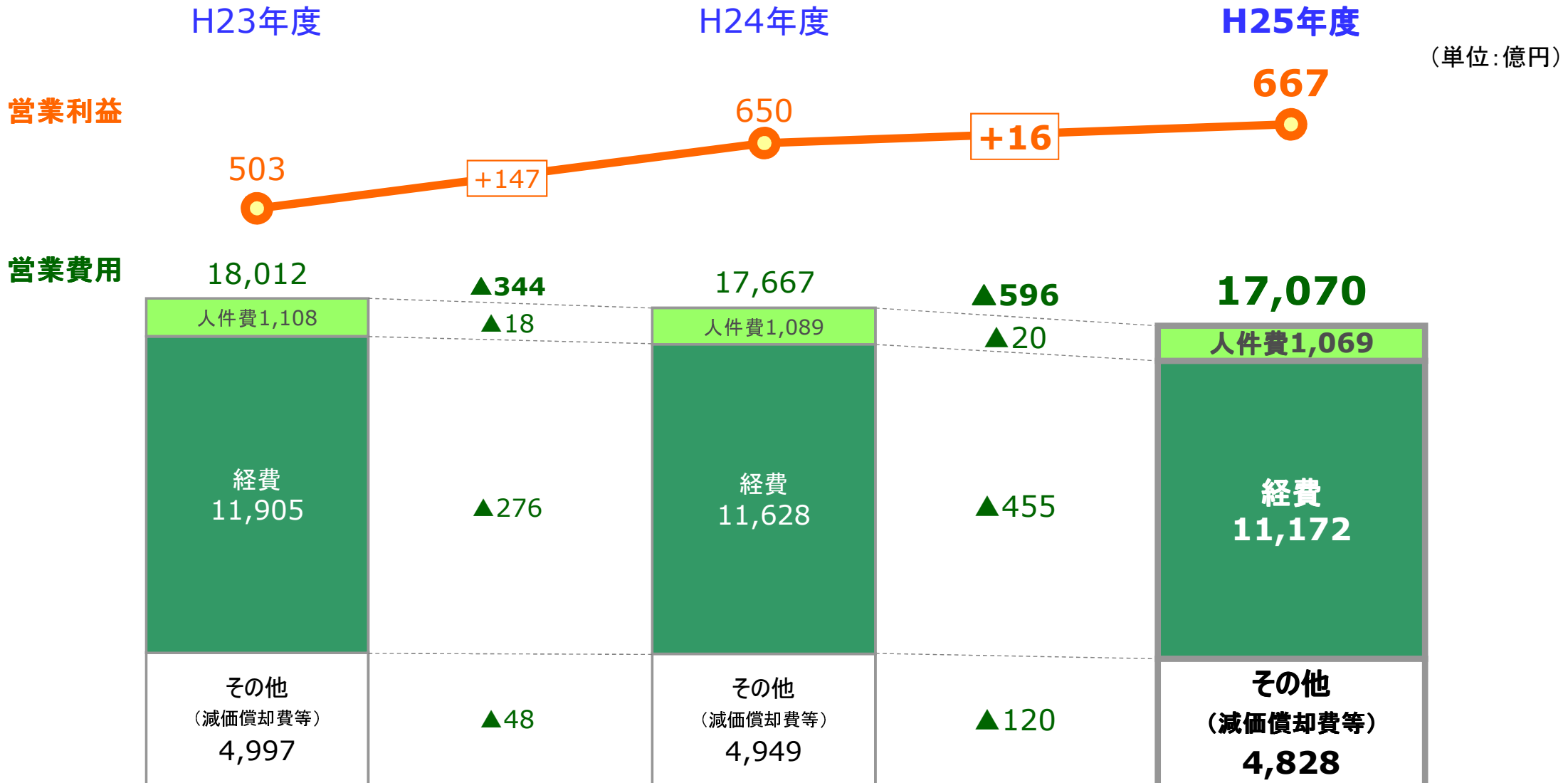
## 2. 営業収益の推移

- 営業収益は、対前年▲579億円減の17,738億円。
- 音声+IP関連収入は、トラフィック収入の減、および各種割引等影響額の拡大により、対前年▲542億円の減。その他収入は、レガシー系サービス収入の減等により、対前年▲37億円の減。



### 3. 営業費用と営業利益の推移

- 営業費用は、効率化の推進により、人件費・経費・減価償却費等を削減し、対前年▲596億円減の17,070億円。
- この結果、営業利益は、対前年+16億円増の667億円。



## 4. 主要サービスの契約数

■H25年度のフレッツ光純増数は44万。

H25年10月に1,000万契約を突破し、年度末契約数は1,019万。

■フレッツ光ARPUは、割引サービスによる影響等により、対前年▲200円の5,660円。

| 主要サービス        |     | H24年度 |       | H25年度       |              |
|---------------|-----|-------|-------|-------------|--------------|
|               |     | 純増数   | 契約数   | 純増数         | 契約数          |
| フレッツ光         | 万契約 | +40   | 975   | <b>+44</b>  | <b>1,019</b> |
| (再)フレッツ 光ライト  |     | +18   | 44    | <b>+11</b>  | <b>54</b>    |
| にねん割          | 万契約 | +289  | 334   | <b>+179</b> | <b>513</b>   |
| ひかり電話         | 万ch | +68   | 808   | <b>+61</b>  | <b>869</b>   |
| ビジネスイーサ ワイド   | 千契約 | +14   | 44    | <b>+17</b>  | <b>61</b>    |
| フレッツ光メンバーズクラブ | 万会員 | +161  | 417   | <b>+80</b>  | <b>497</b>   |
| フレッツ光ARPU     | 円   |       | 5,860 |             | <b>5,660</b> |
| (再)付加サービス     |     |       |       | 1,720       |              |

## 5. 次期業績予想

- 営業収益・営業費用・営業利益・経常利益は、それぞれ認可申請時と同。
- 当期純利益は580億円を見込む。
- フレッツ光・設備投資額についても、認可申請時と同。

| 項 目      |     | 次期業績予想<br>(H26年度) | 2/28発表の計画<br>からの修正額 <sup>(※1)</sup> | 対前年増減額 | 不動産賃貸<br>影響 <sup>(※2)</sup> |       |
|----------|-----|-------------------|-------------------------------------|--------|-----------------------------|-------|
|          |     |                   |                                     |        | 不動産賃貸<br>影響 <sup>(※2)</sup> | その他   |
| 営業収益     | 億円  | 17,710            | ± 0                                 | ▲ 28   | + 440                       | ▲ 468 |
| 営業費用     |     | 16,810            | ± 0                                 | ▲ 260  | + 240                       | ▲ 500 |
| 営業利益     |     | 900               | ± 0                                 | + 232  | + 200                       | + 32  |
| 経常利益     |     | 900               | ± 0                                 | ▲ 17   | —                           | —     |
| 当期純利益    |     | 580               | —                                   | + 40   | —                           | —     |
| フレッツ光純増数 | 万契約 | 30                | ± 0                                 | ▲ 14   | —                           | —     |
| 設備投資額    | 億円  | 3,200             | ± 0                                 | ▲ 313  | —                           | —     |

(※1) 営業費用については、内訳を見直しております。(人件費:▲30億円 経費:+30億円)

(※2) H26年度より、不動産賃貸収支の計上区分を、営業外損益から営業損益に変更しております。

## 6. 光の利用促進に向けたこれまでの取り組み

■光の利用促進に向け、サービスの拡充や、様々なサービスプレイヤーとのアライアンスにより、お客さまに多様な光の利用シーンを提案。

ビジネス分野  
における活用

- ▶自治体・医療・教育分野における「Bizひかりクラウド」シリーズの拡充
  - ・災害時に活用する「安否確認サービス」、診療所向け電子カルテ「Future Clinic 21ワープ」、「おまかせ校務」の提供
- ▶ビジネスシーンにおけるICTの活用
  - ・PCベンダとの協業による販売から運用までのトータルサポートの提供
  - ・モニタリングカメラの提供による遠隔監視ニーズへの対応（プラネックスコミュニケーションズ(株)）
  - ・最新鋭のカラオケ機「LIVE DAM GOLD EDITION」の普及拡大に向けた協業（株第一興商）
  - ・回線認証によりセキュリティを高めたビジネス向けストレージ「フレッツ・あずけ～るPROプラン」を活用した協業



コンシューマ  
の利用促進

- ▶映像サービスの充実
  - ・HD画質の映像配信サービス「TSUTAYA TV」を視聴できるスマートTV端末「TSUTAYA Stick」の提供における協業（株T-MEDIAホールディングス）
  - ・多種多様な映像・音楽コンテンツの提供における協業
- ▶ICTを活用した生活のサポート
  - ・シニア層をターゲットとしたICT体感イベント「昭和レトロなふれあい広場」の開催
  - ・低炭素社会実現をコンセプトとした「Fujisawaサステイナブル・スマートタウン」におけるICT利活用のサポート



拡大する  
Wi-Fi端末  
への対応

- ▶地域との連携によるWi-Fiエリアの拡大
  - ・外国人観光客向けFree Wi-Fi（山梨、横浜、日光、東北観光推進機構 等）
  - ・イベント等におけるWi-Fi環境の活用（秋葉原、清里、喜多方 等）
- ▶新たな旅のスタイルを提案する箱根O2O（Online to Offline）モデルトライアル（株リクルートライフスタイル）



## 7. サービスメニューの充実

### ① ビジネスユーザ向け高速・高品質な新サービスの提供

- 高速・高品質、保守対応の充実といったビジネスユーザのニーズに応える、最大概ね1Gbps、安定した通信を実現する帯域優先が可能な「フレッツ 光ネクスト プライオ」の提供を開始。
- 「フレッツ 光ネクスト プライオ」をご利用のお客さまに、高速で安定したプライベートネットワークの構築を可能とするIP-VPNサービス「フレッツ・VPN プライオ」の提供を予定。

### ② コンシューマ向け1Gbpsサービス(予定)

- 最大概ね1Gbps、最新の規格(IEEE 802.11ac)に準拠した無線LAN標準搭載のコンシューマ向け1Gbpsサービスを提供予定。

### ③ 新たな小型ONUの開発

- 様々な端末に一体化・内蔵が可能な小型ONUを開発。



## 7-①. ビジネスユーザ向け高速・高品質な新サービスの提供

- 最大概ね1 Gbps、安定した通信を実現する帯域優先や充実した保守対応等、多様なビジネスニーズに応えるフレッツ光の新メニュー「フレッツ 光ネクスト プライオ」をH26年3月24日より提供開始。
- 「フレッツ 光ネクスト プライオ」をご利用のお客さま向けに、高速で安定したプライベートネットワークの構築を可能とするIP-VPNサービス「フレッツ・VPN プライオ」をH26年8月より提供開始予定。

|           | フレッツ 光ネクスト プライオ10  | フレッツ光 ネクスト プライオ1 |
|-----------|--|------------------|
| 最大通信速度    | 上下概ね1 Gbps   | 上下概ね1 Gbps       |
| 帯域優先      | 上下10Mbps   | 上下1Mbps          |
| 月額利用料(税抜) | 41,100円  | 20,000円          |
| 特徴        | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 帯域優先型のサービスで通信が混み合っている場合でも安定的な通信が可能。</li><li>・ 24時間365日対応の充実した保守対応。</li><li>・ 夜間、深夜、早朝帯の開通工事等の柔軟な対応を実現。</li></ul> |                  |
| 提供開始      | H26年3月24日(東京エリア)<br>H26年5月12日(神奈川・千葉・埼玉エリア)<br>H26年6月30日予定(東日本全エリア)  |                  |

|           | フレッツ・VPN プライオ                           |
|-----------|---|
| 月額利用料(税抜) | 7,000円                                  |
| 特徴        | ・フレッツ 光ネクスト プライオ10/プライオ1に対応するIP-VPNサービス |
| 提供開始      | H26年8月20日予定                             |

## 7-②. コンシューマ向け1 Gbpsサービス

- 最新の規格(IEEE802.11ac)に準拠した無線LANを標準装備し、利用が拡大しているWi-Fi端末を宅内で快適にご利用いただけるコンシューマ向け1 GbpsのアクセスサービスをH26年度第2四半期に提供予定。

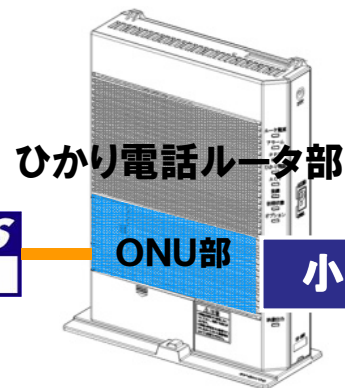
|           | コンシューマ向け1 Gbpsアクセスサービス   |
|-----------|--|
| 最大通信速度    | 上下概ね1 Gbps   |
| 帯域優先      | —  |
| 月額利用料(税抜) | 検討中  |
| 特徴        | <ul style="list-style-type: none"><li>最新の規格(IEEE 802.11ac)に準拠した無線LANを標準搭載。</li></ul> |
| 提供開始      | H26年度第2四半期予定   |

## 7-③. 新たな小型ONUの開発

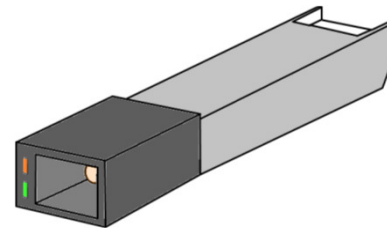
- 様々な端末に一体化・内蔵が可能な小型ONUを開発。
- 仕様を広くオープンにし、様々なベンダの方々により、多様な用途・デバイスでの利用を可能とすることで、お客さまの選択肢を拡大。

(現状)一体型ONU

小型ONU(イメージ図)



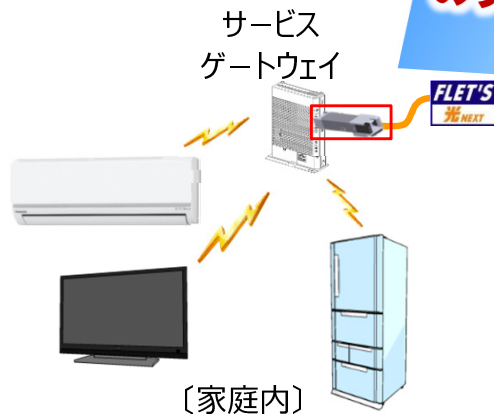
脱着可能な小型のONU



装置仕様：SFP+（予定）（Small Form factor Pluggable +※）  
※光ファイバーを通信機器に接続する光トランシーバの規格

各事業者が提供するデバイスへの  
実装が可能

光を接続する場所、  
利用用途の拡大



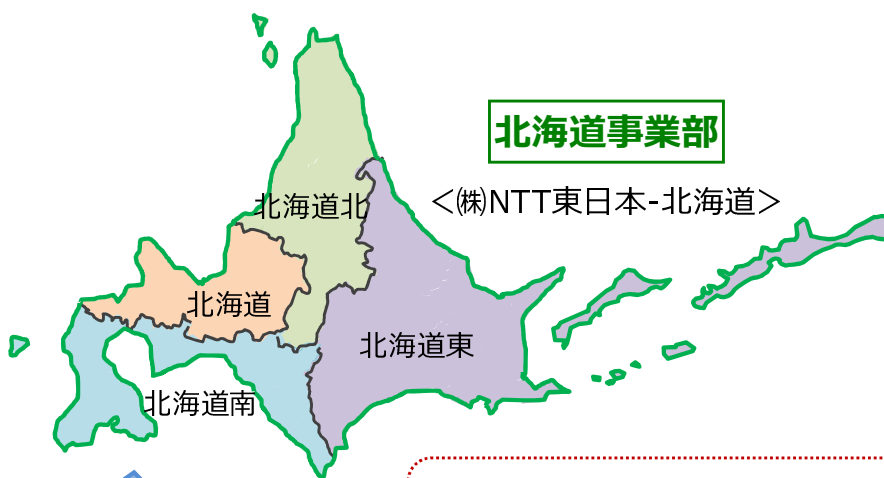
# 8. 業務運営体制の見直しについて

- 一層の業務効率化を推進すると同時に、これまで以上に地域に密着したサービス提供を強化する観点から、現在の17支店を「6事業部」「29支店」に再編成。
- これに対応するため、都道県域ごとに設置していた17子会社を「4会社」に再編成。
- 実施時期はH26年7月を予定。

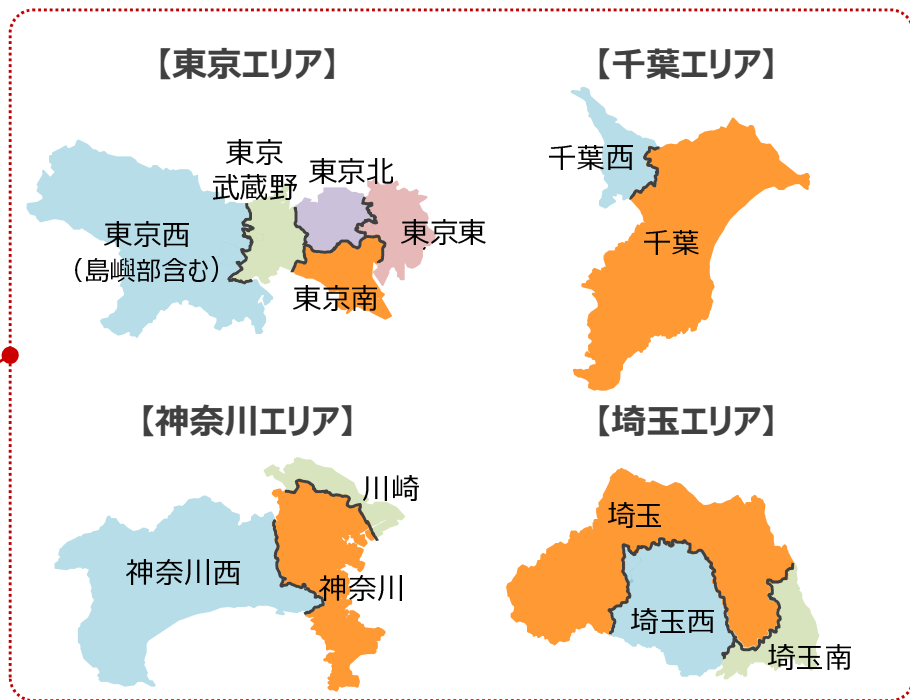
| 現在     |      |
|--------|------|
| NTT東日本 | 17支店 |
| 地域子会社  | 17社  |



| 見直し後   |              |
|--------|--------------|
| NTT東日本 | 6事業部<br>29支店 |
| 地域子会社  | 4社           |



<株NTT東日本-南関東>



**本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。**

**また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされ、もしくは算定したものです。**

**将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。**